

国際関係論 I

科目ナンバリング INR-201
選択必修 2単位

渡邊 啓貴

1. 授業の概要(ねらい)

国際関係論の基本的概念・理論・歴史を理解したうえで、米欧関係と日米関係を比較し、今日の日本外交について論じる。日米と米欧関係を比較した議論は大変少ないので、グローバルな視点から日本外交を考えるうえで有益な授業である。ソフトパワーについて強調する。

2. 授業の到達目標

国際関係の理論の基礎を全般的に理解し、戦後の国際社会の流れについて基本的知識を養成し、日本外交について考察する。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験・出席などによる総合評価

4. 教科書・参考文献

教科書

滝田賢治・大芝亮・都留康子 国際関係学 有信堂

参考文献

渡邊啓貴 『アメリカとヨーロッパ』 中央公論新書

5. 準備学修の内容

概論としては少し難しい授業となるが、予習・復習に努めること

6. その他履修上の注意事項

適宜出席を取ったり、ペーパーを提出してもらう。

7. 授業内容

- 【第1回】 国際関係とは何か
21世紀の国際社会秩序
- 【第2回】 国際関係の理論の概説と基礎概念 ①国際社会の特徴、主権
- 【第3回】 ②パワー、バランスオブパワー
- 【第4回】 ③リアリズムとリベラリズム、複合的相互依存・レジーム論
- 【第5回】 ④世界システム、ヘゲモニー論、コンストラクティビズム
- 【第6回】 冷戦の歴史 ① 冷戦の起源と定義・戦後秩序の構築
- 【第7回】 冷戦の歴史 ②冷戦の制度化・緊張緩和相互依存
- 【第8回】 冷戦の歴史 ③新冷戦から冷戦終結へ
- 【第9回】 冷戦の終結とポスト冷戦体制 ①湾岸戦争から新国際秩序の試み
- 【第10回】 冷戦の終結とポスト冷戦体制 ②9.11以後の世界
- 【第11回】 地域統合の時代 ①統合の理論と欧州共同体
- 【第12回】 地域統合の時代 ②グローバリゼーションと国際協力 東アジア共同体
- 【第13回】 グローバル・ガバナンス/人間の安全保障
- 【第14回】 現代の国際秩序 多極構造と多国間主義の地域統合(勢力圏)
- 【第15回】 まとめと期末試験